

結果の概要

1 精神保健福祉関係

(1) 精神障害者申請通報届出数、措置入院患者数及び医療保護入院届出数

令和元年度の一般・警察官等からの「申請通報届出数」は25,420件で、前年度に比べ130件(0.5%)増加している。また、「申請通報届出のあった者のうち診察を受けた者数」は10,105人で、前年度に比べ171人(1.7%)増加している。(表1)

令和元年度末現在の「措置入院患者数」は1,443人で、前年度に比べ35人(2.4%)減少している(表1、図1)。

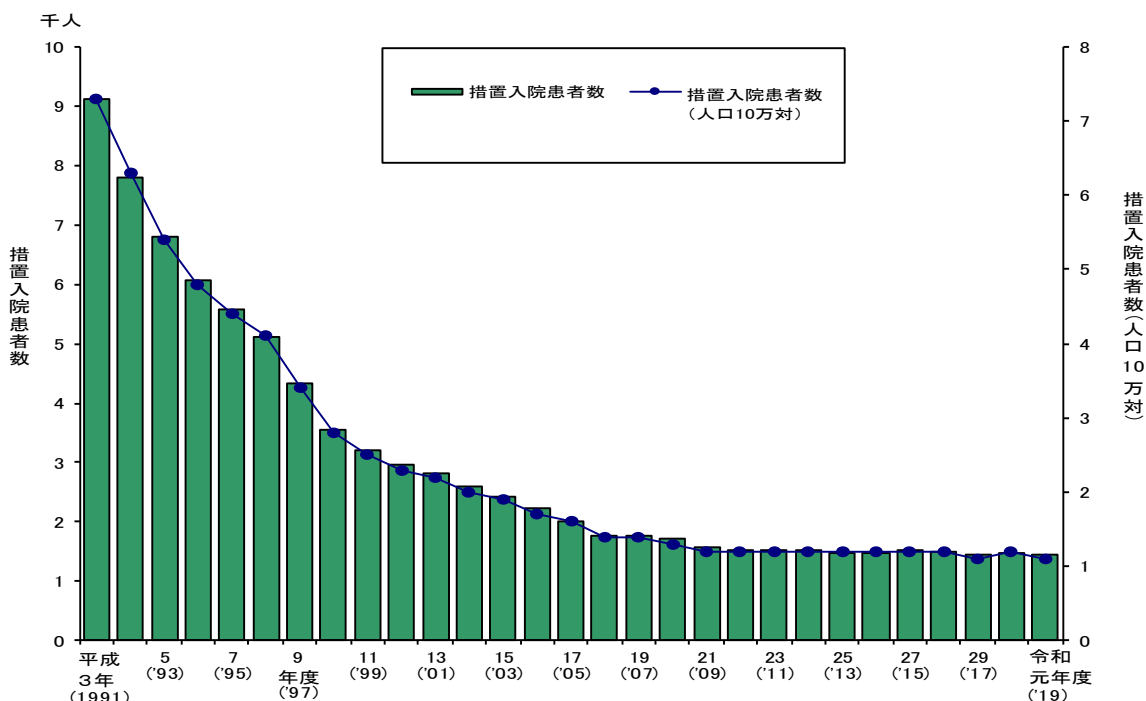
令和元年度の「医療保護入院届出数」は186,930件で、前年度に比べ753件(0.4%)減少している(表1)。

表1 精神障害者申請通報届出数、措置入院患者数及び医療保護入院届出数の年次推移

	平成27年度 (2015)	28年度 ('16)	29年度 ('17)	30年度 ('18)	令和元年度 ('19)	対前年度	
						増減数	増減率 (%)
申請通報届出数(件) (各年度)	25 922	28 346	26 782	25 290	25 420	130	0.5
申請通報届出のあった者のうち 診察を受けた者数(人) (各年度)	9 484	9 775	9 536	9 934	10 105	171	1.7
措置入院患者数(人) (各年度末現在) (人口10万対)	1 519 1.2	1 502 1.2	1 444 1.1	1 478 1.2	1 443 1.1	△ 35	△ 2.4
医療保護入院届出数(件) (各年度)	177 640	180 875	185 654	187 683	186 930	△ 753	△ 0.4

図1 措置入院患者数の年次推移

各年(度)末現在



注：平成8年までは、暦年の数値である。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、宮城県のうち仙台市以外の市町村が含まれていない。

(2) 精神障害者保健福祉手帳交付台帳登載数

令和元年度末現在の精神障害者保健福祉手帳交付台帳登載数（有効期限切れを除く。）は1,135,450人で、前年度に比べ72,750人（6.8%）増加している（表2）。

表2 精神障害者保健福祉手帳交付台帳登載数（有効期限切れを除く。）の年次推移

（単位：人）

各年度末現在

	平成27年度 (2015)	28年度 (' 16)	29年度 (' 17)	30年度 (' 18)	令和元年度 (' 19)	対前年度	
						増減数	増減率 (%)
精神障害者保健福祉手帳 交付台帳登載数 (有効期限切れを除く。)	863 649	921 022	991 816	1 062 700	1 135 450	72 750	6.8
(人口10万対)	679.5	725.6	782.8	840.5	900.0		
1級	112 347	116 012	120 651	124 278	127 453	3 175	2.6
2級	519 356	550 819	590 557	630 373	670 107	39 734	6.3
3級	231 946	254 191	280 608	308 049	337 890	29 841	9.7

(3) 精神保健福祉センターにおける相談延人員

令和元年度の精神保健福祉センターにおける相談延人員は125,164人となっている。主な相談内容別にみると、「社会復帰」が46,623人（37.2%）と最も多く、次いで「心の健康づくり」14,751人（11.8%）、「思春期」13,236人（10.6%）となっている。

また、相談延人員のうち相談（要因）が「ひきこもり」は26,218人（20.9%）、「発達障害」は10,702人（8.6%）となっている。（図2、図3）

図2 精神保健福祉センターにおける
主な相談内容別延人員

令和元(2019)年度

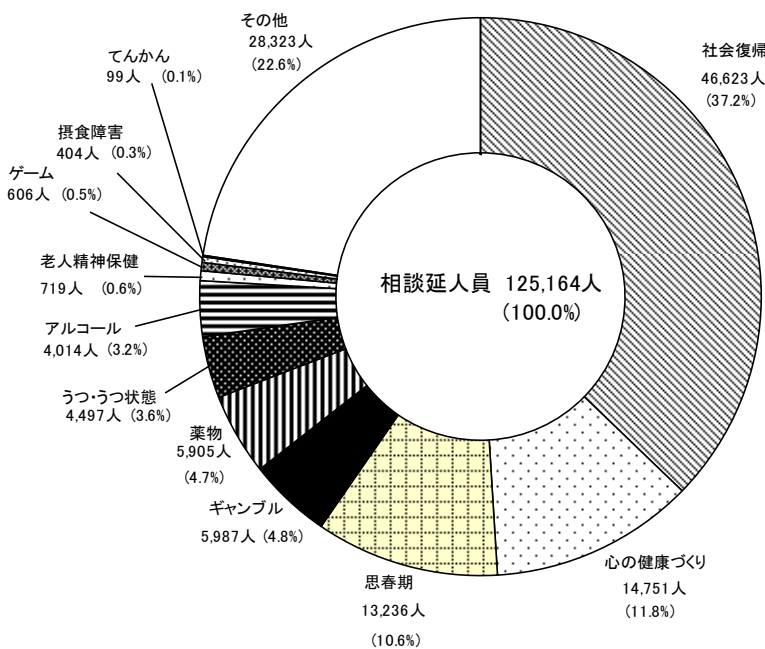
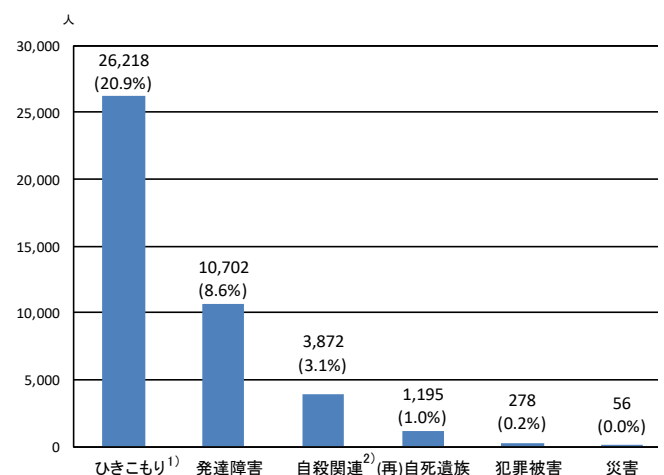


図3 精神保健福祉センターにおける
相談（要因）別延人員

令和元(2019)年度



注：1) 「ひきこもり」とは、仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態にある7歳から49歳までの者をいう。

2) 「自殺関連」とは、相談内容が、自殺の危険、予告・通知、実行中、未遂、遺族等からの相談のいずれかに該当するものをいう。